「2026 CCCJ WEEK」を開催
「選ばれる日本、挑戦する企業家」をテーマに約 400 名が参加

2026 年 9 月 10 日、一般社団法人日本中華總商会は、ザ・プリンス パークタワー東京にて「2026 CCCJ WEEK」フォーラムを開催しました。本年は、「選ばれる日本、挑戦する企業家」をテーマに、東京都副知事 宮坂学の基調講演を皮切りに、AI ロボット、インバウンド、スタートアップの 3 分野を軸としたプログラムを展開。会員をはじめ、経済団体、関係機関、企業経営者、専門家など、約 400 名の皆さまにご参加いただきました。

開会にあたり、日本中華總商会会長 蕭敬如が挨拶。続いて、東京都副知事 宮坂学氏より、「挑戦者が生まれ、世界から集まり、挑戦者を応援する東京へ」と題した基調講演が行われました。東京におけるデジタル化、スタートアップ支援、国際化に向けた取り組みについてご紹介いただき、CCCJ WEEK の幕開けにふさわしい講演となりました。

AI・ロボット分科会

「AI・ロボティクスがつなぐ日本ビジネスの未来」

AI・ロボット分科会では、日本中華總商会 副会長 半崎一広より開会の挨拶を行い、AI・ロボティクスと人間が共生する新たな時代について問題提起がなされました。

続いて、株式会社 Flower Communications 代表取締役社長 柳川直隆氏より、「光ファイバー・電力・AI、北海道から始まる次の産業革命 ～IOWN で世界とつながる石狩の挑戦～」をテーマに基調講演が行われました。

事例紹介では、株式会社豊田自動織機 理事 熊倉孝氏が「フィジカルインターネットが創る物流の未来～その実現エンジンとなるフィジカル AI～」について、Trans-N 代表取締役＆CEO 那小川氏が「AI Agent 導入の現在地」について、それぞれ最新の取り組みを紹介しました。

その後のパネルディスカッションでは、Quicktron Japan 株式会社 代表取締役社長 蔡行順氏をモデレーターに、熊倉孝氏、那小川氏、SoraMindz 株式会社 代表取締役社長 会田容弘氏、Logistics Today 代表取締役社長 赤澤裕介氏が登壇。AI、フィジカル AI、フィジカルインターネットの今後について、多角的な議論が交わされました。

また、今回は同時に AI・ロボット展示・実演も同時開催。人型ロボットやサービスロボット、AI 会話ロボットなどが展示され、多くの来場者が実際に最新技術に触れ、企業担当者との交流を楽しみました。

インバウンド分科会

「富裕層インバウンド：体験で稼ぐインバウンド戦略」

フォーラムの後半は、インバウンド分科会とスタートアップ分科会を 2 会場で同時開催しました。インバウンド分科会では、日本中華總商会 副会長・インバウンド協議会委員長 譚玉峰より冒頭挨拶を行いました。

株式会社 BEYOND 代表取締役 道越万由子氏による基調講演では、「日本のインバウンド戦略は量から質へ！」をテーマに、高付加価値な地域コンテンツの開発や、世界の富裕層が求める体験価値について紹介いただきました。続いて、Trip.com Group 張ハン氏より、上級会員サービスと静岡県との連携による高付加価値事業を紹介。原正紀氏からは、日本における地方百貨店の現状と課題について講演が行われました。

パネルディスカッションでは、「地方創生×富裕層インバウンド―地域が『体験で稼ぐ』ための実装―」をテーマに、Japan Cross World 代表取締役 福原規正氏、株式会社岩岳リゾート 代表取締役社長 星野裕二氏、中央大学経済学部教授 唐成氏、静岡県スポーツ・文化観光部観光振興課 水野祐子氏らが登壇。地域資源を生かした体験価値の創出や、富裕層市場へのアプローチ、地域経済の活性化について活発な意見交換が行われました。

スタートアップ分科会

国内外のスタートアップによるピッチを実施

スタートアップ分科会では、蕭敬如会長とスタートアップ運営委員会担当の渡邉洋行副会長より開会挨拶に続き、国内外のスタートアップ企業によるピッチセッションを実施しました。

AI、ロボティクス、自動運転、システム開発など幅広い分野の企業が、それぞれの技術、サービス、事業構想を紹介。海外市場への展開、技術連携、事業パートナーとのマッチング、新たなビジネス機会の創出に向けた交流が行われました。

会場では、登壇企業同士だけでなく、来場した企業経営者や投資・事業関係者との情報交換も行われ、スタートアップと既存企業をつなぐ交流の場となりました。

「CCCJ WEEK つなぐパーティー」で交流をさらに深める

夜には、「CCCJ WEEK つなぐパーティー」を開催しました。蕭敬如会長の挨拶、評議員会会長 厳浩による乾杯の発声を皮切りに、会員、来賓、登壇者、関係者の皆さまが和やかな雰囲気の中で交流を深めました。

パーティーでは、スペシャルゲストとして大事 MAN ブラザーズ 立川俊之氏が登場し、代表曲「それが大事」を披露。同曲は中国語圏でも「紅日」の原曲として広く親しまれており、会場では日本語と中国語の歌詞をスクリーンに映しながら、来場者の皆さまにも一緒に歌っていただきました。会場全体が一体となり、大きな盛り上がりを見せました。

最後に、本イベント実行委員長である尚捷理事長より感謝の辞を述べ、船津康次常務副会長による中締めをもって、一日のプログラムを締めくくりました。

今回の CCCJ WEEK は、講演、パネルディスカッション、企業ピッチ、AI・ロボット展示、交流パーティーを通じて、人・技術・企業・市場をつなぎ、新たな出会いとビジネスの可能性を生み出す一日となりました。